



約0.8%の読者ハガキ返信率を誇る 子育てママ御用達フリーマガジン

LIBERTY HEART リバティ・ハート「チルドリン」

多感な時期の子どもに「凜」と育ってほしいと願うママが、キッズと一緒に楽しめるフリーマガジンとしてリバティ・ハートが発行している「チルドリン」。ママたちへの「気負わず一緒に子育てしていこうよ」というメッセージとコンテンツが読者に支持され、首都圏において急速に配布ネットワークを拡大している。



チルドリン



表紙のおしゃれさとかわいさ、フランスの絵本を手本としたデザイン、幅広いコンテンツ内容と読者目線で設計したサイズ・ページ数など、一度手に取ったママたちの心をつかんで離さないのが「チルドリン」の特長。表紙のかわいさに思わず持ち帰り、内容を読んでファンになる読者がほとんどという。

ママ向けページは左開き、キッズ向けページは右開きからと、リバーシブルスタイルになっている「チルドリン」。母子のライフスタイルに合わせて春・夏・冬の各休みとゴールデンウィーク、秋の行楽シーズンの年5回刊で、「チルドリンプラザ」会員約2000人への郵送、関東圏の主要レジヤースポットおよびドラッグストアなど母子の生活動線上約500カ所でのラック設置、子育てママを支援するNPO団体の協力による手渡し配布などを中心に、計12万部を発行している。

「チルドリン」らしい見せ方で編集記事以上に好評な広告も



食品や食料関係の広告用に「チルドリンキッチン」というスペースを設け、「チルドリン」がお薦めする食品（食料）の紹介を行っている。写真はヤヨイ食品の実例。

のもと、読み物と情報のバランスにこだわって制作。フリーとは思えない完成度で読者の高い支持を得ており、読者から自身の所属する地域子育てサークルに配布したいとの問い合わせで配布網も広がっている。読者ハガキの返信率は約0.8%にも上り、そのうち98%が毎回の送付を希望。ハガキコメント欄には書き込みが多く、信頼という固いきずなで読者と結ばれている点が最大の特長といえる。

同社ではこうした信頼関係を礎に、本業である企業のプロモーション支援で培った経験とノウハウを広告ページ制作に活用。「チルドリン」らしさを表現し、広告とは思えない内容と見せ方で全誌面を統一しているため、「広告ページが編集ページ以上の好評を集めることも珍しくない」（同社取締役・杉山健太氏）という。

例えば、同社オリジナルキャラクター「犬「こたろう」」がさまざまなテーマ

お問い合わせ先

株式会社リバティ・ハート
〒140-0011
東京都品川区東大井5-16-2
キルロイビル4F
TEL: 03-3458-8850
E-mail: info@childrin.com
URL: http://www.childrin.com/

で驚きを伝える連載型広告では、手作りランドセルメーカーをクライアントに、手作りランドセルの魅力を分かりやすく紹介。配布直後から問い合わせが急増する効果を見せた。

この他、同誌のコネクションを活かした子育てサークルや児童館でのサインプリンク、会員へのアンケート調査やWEBサイト「@チルドリン」との連動など、立体的なプロモーション展開が可能。読者からの信頼度の高さと広告ページの相乗効果で高い反響も期待できるとあって、母子を対象とする企業からの注目を集めている。



リバティ・ハート 取締役・杉山健太氏